



(神宮寺跡の大桜 神石高原町)

特集

理事長新年のご挨拶

「フレイルティ」を予防するために、筋力をつける運動をしたり、早歩きのウォーキングを習慣づけたり、栄養をつけたりする努力を普段からすることが、新しい老年医学の理論に叶っているという事なのです。

P2

● 理事長挨拶	P2
● 病院長挨拶	P3
● 事業本部長 挨拶	P4
● 地域医療連携室長 挨拶	P5
● 看護部長／事務局長 挨拶	P6
● ローカルコモンズしんいち	P7
● 貧血のお話	P8・P9
● 看護部より	P10
● 理念・病院カレンダー	P11
● 外来診療表	P12

理事長挨拶

成熟社会に相応しい
ライフスタイルと
健康感を身に付ける

理事長
寺岡 暉



新年おめでとうございます。

「高齢化社会」と云われ始めたのは、なんと1970（昭和45）年で、今から46年も昔のことです。日本人の平均年齢は現在のところ46.5歳なので、多くのみなさんが生まれたころからすでに「高齢化社会」だったことになります。

「化」がとれて「高齢社会」となったのが1995年（平成7年、21年前）、「超」がついて「超高齢社会」となったのが2007年（平成19年、9年前）です。高齢者が増えれば、病人が増え、認知症も多くなる。社会の活力も低下する、というようにマイナスイメージが強くなって、首相も「一億総活躍社会の実現」などと強気の発言をせざるを得なくなります。

一方、日本の人口は2004（平成16）年に1億2784万人でピークに達し、2005年から人口減少社会に入っています。そして出生率がほぼ現在のまま1.35と変わらなければ、2060年の人口は8674万人になると推計されています。

こう云うと、悲観的に聞こえますが、見方を変えればそのような悲観論ばかりではない。つまり、やがてかつての落ち着いた田園都市風景を取り戻し、高福祉・高負担の成熟社会になるという訳です。（広井良典『人口減少社会という希望』朝日新聞出版より）そうなると、成熟社会に相応しいライフスタイルと健康感を身に付けることを市民はおぼえなくてはなりません。

高齢者（とりあえず65歳以上）の有病率は、若い世代に比べると高く、脳卒中や骨折、肺炎などの急性疾患にも罹り易く、それまで気がつかなかった身体障害を引き起こす。しかし、実は平穏に過ごしているように見えても、加齢を

背景に徐々に日常生活動作障害に至る過程が存在することを知っておく必要があります。ここで、**フレイルティ**という聞きなれない言葉とその概念をご紹介します。

フレイルティは英語のfrailtyで、日本語では「虚弱」、「老衰」、「衰弱」、「脆弱」といった訳が使われ、形容詞として「フレイルな老人」というと、加齢による老い衰えた老人というネガティブな印象を与えることは否めません。しかしながら、フレイルティには、しかるべき手当てにより再び健常な状態に戻るという意味も含まれています。従って、フレイルティに陥った高齢者を早期に発見し、食事や運動などの適切な手当てをすることにより、生活機能の維持・向上を図ることが期待されるのです。そこで日本老年医学会は、「虚弱」よりは広い概念を含んでいる「フレイルティ」、「フレイル」とカナで使っています。すなわち「加齢に伴う種々の機能低下（予備力の低下）を基盤とし、種々の健康障害に対する脆弱性が増加している状態」を指しています。高齢者においては生理的予備能が少しずつ低下し、「フレイルティ」という中間的な段階を経て、徐々に要介護状態に陥ると云う考え方です。「要介護認定」における「要支援」はまさにフレイルな高齢者を対象にした制度であり、当然「非該当」者の中にも「フレイルティ」に該当する方が含まれています。私が強調したいのは、「フレイルティ」を予防するために、筋力をつける運動をしたり、早歩きのウォーキングを習慣づけたり、栄養をつけたりする努力を普段からすることが、新しい老年医学の理論に叶っているという事なのです。

病院長挨拶

この地区の地域医療構想と
地域包括ケア

病院長
武田 昌



皆さん、新年おめでとうございます。

2016年の年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年のお正月は寒さが厳しかった記憶がありますが、今年は暖かいお正月でした。皆さんはどのように過ごされたでしょうか？

さて、昨年「地域医療構想」の策定が全国規模でスタートし、当地区でも検討委員会や、ワーキング会議が行われています。私も府中地区医師会の担当者としてこれらに参加しています。この「地域医療構想」については、病床削減のための会等と言われ、その存在意義を疑問視する人も多いのですが、実際には、今後どんどん高齢化が進むなかで、地域に如何に安心して住めるか？ということを検討する会議です。そのための概念として「地域包括ケア」という言葉が使われています。今後の高齢化社会において、医療

機関や介護機関がはたしてどのような役割をになうべきか？ということをしっかり考えていかねばなりません。高齢の人たちが安心して住める環境作りをまず考えるのが「地域包括ケア」の基本となります。独居への不安を解消するために、サービス付き高齢者住宅や小規模多機能施設など、高齢の方々の孤立させない住まいが必要となり、その近くに医療機関が控えている姿が理想的と思えます。

私たちの病院においても、このような体制を支える機能として、ローカルコモンズしんいちのバックアップや、地域包括ケア病棟開設、回復期リハビリ病棟・療養病棟の運営など、様々な工夫と検討を行っています。当院の理念である、「トータル アンド シームレスケア」が今後ますます重要になってくると考えています。

事業本部長挨拶

「医療の支援のない介護はありえない」
「介護のない高齢者医療は成立しない」
この事が、我々の事業の大事なポリシーとなっています。

法人本部 事業本部長
寺岡 謙



新年、おめでとうございます。

2016(平成28)年の年頭にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

社会医療法人社団陽正会の主要事業である寺岡記念病院は、故 寺岡 正が1946(昭和21)年に「寺岡医院」を開院して、今年で70年を迎えます。

また、理事長 寺岡 暉が同じく理事長を務める、社会福祉法人新市福祉会が運営する「ジョイトピアおおさ」が1996(平成8)年に開設して、20年を迎えます。

寺岡記念病院を70年、ジョイトピアおおさを20年もの長きに渡り、地域の皆様方にお支え頂いた事に、「感謝」という言葉以外に何も頭に浮かんでは参りません。今後ともこれまで以上に、医療・介護・福祉から地域の皆様方の暮らしを支えるべく、一層努力する所存でございますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、ローカルコモンズしんいちが立ち上がり、

1年と5ヶ月が経とうとしています。その間、利用者の皆様方、そのご家族の皆様方には、様々な形でご支援・ご指導を賜り、大変、感謝しております。

寺岡記念病院・ローカルコモンズしんいちを含め、陽正会グループ全体の事業の遂行には、医療と介護の円滑な連携と融合という要素が欠かせません。「医療の支援のない介護はありえない」「介護のない高齢者医療は成立しない」。この事が、我々の事業の大事なポリシーとなっています。

このポリシーを大事にしながら、町内、または府中地域の様々な医療機関、介護保険施設、福祉関連施設、そして行政と密な連携を取っていきたいと考えております。また、町民の方々とも積極的な連携を取らせていただき、柔軟な形で地域を支えていくという事を思案していきたいとも考えております。

いずれにしましても、2016年が皆様にとって良い年である事を祈念いたします。

地域医療連携室長挨拶

地域医療連携室より

副院長 腎センター長
地域医療連携室長
熊谷 功



新しい年を迎えてのごあいさつを申し上げます。

当院は現在に至るまで、福山市北部・府中市・神石高原町を中心とした地域の中核病院として、シームレスケアを理念に掲げて、地域の皆さまから信頼していただける病院であるよう努めております。患者さんの病状・病期にあわせて、急性期病棟(本館2・3階)、回復期リハビリ病棟(東2階)、地域包括ケア病棟(本館4階)、慢性期病棟(東3階)、療養病棟(南2階)において入院診療を行っております。地域・職場健診は、その枠を広げ質を高めてご用意しております。医療・看護・介護それぞれの分野の教育・実習について積極的に取り組んでおります。

ローカルコモンズしんいちの運営も軌道に乗り、多くのかたがたに利用していただき、今後は福祉介護の地域拠点として発展することが期待されます。当院の地域

医療連携室としても、地域包括支援センターとの間でしっかりと連携をとるようにしております。

昨年は第3回の地域医療連携の会を開催し、地域の医療機関や介護施設のスタッフの方々と交流を深めることができ、地域の医療・介護の発展に向けて心を新たにいたしました。本年2月には府中市民病院の新築移転があり、コンソーシアム府中のメンバーとして、地域医療のパートナーとして、今まで以上に親密に連携してまいりたいと考えております。

例年と同様に紹介受診予約、検査依頼予約、入院転院の予約・手続き、退院に向けての相談、退院後の介護施設利用・入所の手続き・予約、その他さまざまなご相談をお受けいたしております。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



看護部長挨拶

安心して療養できる仕組みづくり

新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

高齢化社会に突入し、国は様々な方針を打ち出しています。その中の一つに「“治す医療”から“支える医療”への転換」があり、住み慣れた地域で医療を継続しながら生活できるように「地域包括ケア」が云われるようになりました。

医療者と患者という枠を超えて、地域の人達と支えあう仕組みづくりが重要になってきております。

当院においては、“在宅支援室”を設置し、在宅でケアを続けられるように訪問し、また必要時には行政や福祉関係者と連携をとり、支援を行っております。

入院患者さんには病状に適した病棟に入院してい

看護部長
甲斐 みどり



ただき、また入院時より社会福祉士と連携をとり、在宅での生活を視野に入れた指導を心がけています。

また、認知症状のある方への接し方については、認知症ケア専門士を取得している看護師が積極的にアドバイスを行う、聴覚に障がいがある方が困らないように病院職員が手話を学ぶなど、多職種で様々なことに取り組んでおります。

専門の職員が地域に出向き皆様と学習する会を開いておりますので、ご要望がございましたら、お気軽に声をお掛けください。

これからも安心して療養ができるように、医療・看護・福祉各部門が連携して支援していける体制を整備していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長挨拶

人間ひとり一人の力はすばらしい、地域の助け合い・ささえあいを大切に

皆様、新年おめでとうございます。本年もまた一步、前進しましょう。

今年は東日本大震災発生から5年目の年にあたります。また昨年9月には、関東・東北豪雨災害により大きな被害を受け、尊い生命までも失うこととなり、本当に胸が痛む思いと同時に、災害・被害を最小限に留めるには、各地域での安全対策への取組みが重要であると考えます。

さて、当院では地域包括ケア病棟1を新設してから今年の1月で丁度1年になります。施設基準の要件でもある在宅復帰率は80%(基準値70%)を超え、また看護必要度は20%(基準値10%)以上、リハビリ単位数は2単位以上(基準値2単位)で推移しており、入院から退院までの支援、また在宅における生活支援を継続して行っております。

また昨年は、聴覚障がい者の支援の一環として、NPO福山ろうあ協会に依頼し手話教室を毎週1回開催することにしました。講師2名(ろう講師・健聴講師)と参加職員30名程度で、医師をはじめ、看護要員、臨床検査技師、事務職

法人本部 事業本部次長
事務局長

西嶋 朝枝



員等多職種の集まりとなり、活気がみなぎる教室となりました。

はじめに、聴覚障がい者の理解と認識を深めるところから始まり、名前の紹介、家族の紹介、数字を使って話す、住所を紹介、医療現場での会話等8回にわたり訓練を重ね、今回のシリーズ最終日には自分で手話スピーチを2分間程度行いました。参加職員ひとり一人の手話スピーチは、相手に十分伝わる表現力のある素晴らしいものであり本当に感動いたしました。

先日救急搬送された聴覚障がい者の方に思い切って手話で対応したという話を聞かせて頂き、私たちの実施訓練の成果を出来る限り現場に活用できるよう、今年度も手話サークル活動を継続していきたいと考えております。

末筆になりましたが、地域の皆様そして、職員皆様のご健康を祈念いたしまして、新年のご挨拶にかえさせていただきます。本年も、よろしくお願いいたします。

多世代交流施設

ローカルコモンズ・ウィル

年末年始に行われた行事を紹介します。

門松づくり

お正月に向け『門松』を作成しました。ウィル職員2名が中心となり、竹もタルも自分たちで準備して門松を作成しました。ローカルコモンズ・ウィルとガーデンテラスの正面玄関に飾りました。

ガーデンテラスに飾られた門松



ローカルコモンズ・ウィル
正面玄関の門松

お餅つき



年末には、ウィルの入居者の方も交えて餅つきをしました。寺岡記念病院からも助っ人が来てくれました。御年100歳になる入居者の方もしっかりと杵を振り、お餅をついていました。ついたお餅は、ぜんざいや大根もちにいただきました!



「貧血」のお話

寺岡記念病院 内科非常勤医師
岡山大学病院 血液・腫瘍内科
助教 西森 久和



外来で、「わたし、最近貧血ぎみで、時々フーッとなるんです。」とお話しされる方がいらっしゃいます。たしかに「貧血」の症状として、立ちくらみを伴うことがありますので、もしかしたら本当に貧血なのかもしれません。フーッとなる原因もいろいろありますので、きちんと診察や検査をする必要があります。ここでは、「貧血」に関する基本的なことや、貧血をおこすさまざまな原因、必要な検査、そして適切な治療についてお話ししたいと思います。

「貧血」とは

人間の体のなかでは、1秒間に約200万個、1日に2000億個もの「赤血球」が作られています。この赤血球は体に必要な酸素を運ぶ、という重要な役割があります。そして、古くなった赤血球は脾臓という臓器で処理、破壊されています。この赤血球が少なくなると「貧血」と言います。

ヘモグロビン(Hb)

正常値

- 男性:13.2~17.2g/dL
- 女性:11.5~15.0g/dL

ヘモグロビンとは、赤血球の中にあるタンパク質で、酸素と結合する性質をもちます。ヘモグロビンには赤い色素である「ヘム」



が含まれているのですが、この「ヘム」は鉄によって構成されていますので、体の鉄分が足りないと、この「ヘム」が作られなくなり、貧血をおこします。

貧血の症状

ごく軽い貧血であれば、検診でヘモグロビンが低だけで、症状が全くない場合が多いです。貧血が進んでくると頭痛、耳鳴り、めまい・立ちくらみなどの症状がでえます。ヘモグロビンが6g/dLよりも低くなると、いわゆる心不全をおこすことがあります。心臓はご存知のとおり、血液を体じゅうにいきわたらせるととても重要な臓器ですが、貧血が進むと、体に十分な酸素を運べなくなりますが、それを何とか挽回しようと、心臓が一生懸命頑張ってポンプの威力を発揮して血液を多く循環させることでカバーします。

しかし、その頑張りの限界を超えてしまう状態がきてしまう、すなわち心不全という状態になってしまい、

命にかかわることもあります。他にも貧血による症状はさまざま、例えば食欲不振や飲み込みが難しくなる、舌に炎症をおこす、下痢や便秘などの消化器系の症状をともしうこともあります。



下痢や便秘などの症状も

診察で分かること

貧血の方を診察させていただくと、まず顔色が悪い(白い)ことで気づくことが多いです。また、眼瞼結膜(眼のまぶた裏側)や爪の血色が悪くなることがあります。心臓の音を聴診器で聴くと、心雑音が聴こえることもあります。このように診察を受けることは、貧血の状態を確認する上でとても重要なことです。

まずは
診察を!



貧血の原因

一番よくみかけるのは「鉄欠乏性貧血」と呼ばれる、鉄分が足りないためにヘモグロビンを作ることができず、貧血になってしまうというものです。体に必要なビタミンが不足することによっておこる貧血もあります。また、自分の免疫の調子が悪くなって、自分で自分の赤血球を多く壊してしまう貧血(自己免疫性貧血)などもあります。また、**ご年配の方の貧血では、悪性腫瘍、感染症、膠原病などの重大な病気が影響していることがあります**ので、注意が必要です。その他にも、別の病気で処方されているお薬が原因になっていることもありますので、その場合には治療薬を中止、変更するなどの対応が必要です。

検査と治療

血液検査によって貧血の原因についておよその情報を得ることができます。鉄、フェリチン(体に蓄えられている鉄)、ビタミンB12、葉酸、亜鉛、銅などの測定によってそれらがとても少ない場合には、欠乏性の貧血であることが分かりますので、それぞれを内服薬や注射などで補うことが治療になります。血液の成分で赤血球、ヘモグロビンだけでなく、白血球や血小板も低下している場合には、血液の悪性疾患や悪性腫瘍、自己免疫性などの重要な原因が隠れている可能性があるため、骨髄穿刺検査(骨髄液:血液の元になっている細胞がある)によってこれらの病気を区別する必要があります。

血液検査で
貧血の原因を
調べます。



おわりに

貧血自体が重い病気とは言いませんが、治療によって貧血が改善すればとてもお元気に日常生活を送っていただけたと思います。逆に、貧血をおこしている原因の一部には悪性腫瘍など命にかかわる病気が隠れていることもありますので、たかが「貧血」とは思わずに血液内科の診察を受けていただくことが重要です。また、検診や診察での血液検査の結果で、ご不明のことがございましたら、いつでもご相談ください。

本館4階（地域包括ケア）病棟

クリスマス会を開催しました



病棟に飾り付け

季節を味わっていただきたく、ロビーや病室に手作りの飾りをしています。

季節ごとに飾り付けが変わりますので、ぜひご覧ください。



心なごむ
飾り付け



南館2階（療養）病棟

あそびを取り入れたリハビリ

療養病棟では、月・水・金に遊びを取り入れたリハビリを行っています。他の病棟からの参加も歓迎です。



病棟飾り付け



季節ごとの
飾り付け



手話サークル

リハビリ室で開催するバレンタインコンサートで「花は咲く」の歌を手話で披露します。現在特訓中です。

♪ 花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に♪♪～

♪ 花は 花は 花は咲く 私は何を残したる～♪



寺岡記念病院 理念

トータル&シームレスケア

全人的で切れ目のない医療提供の推進

スローガン

保健・医療・福祉の統合とネットワーク形成による新地域医療を実践しよう

方針

- ① 地域住民の健康と安心を守る医療機関であり続け、健康地域づくりに貢献します
- ② 医療を受ける人の個々のニーズに応える医療を提供します
- ③ 安全で良質な医療提供のためスタッフの職務能力と人格能力を高めます
- ④ 社会の要請に対応した医療を提供します
- ⑤ 長期的に安定した医療を提供するため健全な経営を行い病院の総合力を高めます

2016年寺岡記念病院 カレンダー

1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

2月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

10月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

11月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

休診日のご案内

①日曜日・祝日 ②年末年始 (12/31・1/1・2・3) ③お盆 (8/15・16)

外来受付時間

●平日／午前8:30～11:30 ●土曜日／午前8:30～11:00

外来診察時間

●平日 (月～土)／午前9:00～午前12:00 午後1:30～午後5:30

日曜・祝日
以外の
休診日

寺岡記念病院 外来診療表

外来受付
時間

平 日:午前8:30～11:30
土曜日:午前8:30～11:00

外来診療
時間

月～土曜日: 午前 9:00～12:00
午後 1:30～ 5:30

診察室		月	火	水	木	金	土
内科	1診	松本 寛	武田 昌	福田 真治	武田 昌	竹内 康人 (肝臓)	武田 昌
	2診	熊谷 功	熊谷 功	松本 寛	福田 真治	熊谷 功	松本 寛
	3診	浅野 豪	浅野 豪	竹原 幸人	榎本 剛	榎本 剛	福田 真治
	4診		西森 久和 (月2回・血液内科)	藤原 恵		松原 知康 (脳神経内科)	藤原 恵
	専門外来			上野 弘貴 (脳神経内科)	鈴木 英之 (消化器内科)	中村 重信 (月2回・パーキンソン)	榎野 博史 (月1回・腎疾患)
	専門外来	内田 治仁 (月2回・糖尿病)		中川 晃志 (循環器内科)			岩崎 良章 (月2回・肝臓)
脳神経外科	1診	寺岡 暉	寺岡 暉	寺岡 暉	寺岡 暉		寺岡 暉
	2診	竹信 敦充	竹信 敦充	久ヶ澤 一葉	渡辺 高志 (鳥取大学)	竹信 敦充	東京大学
	3診	久ヶ澤 一葉	串原 義啓	東京大学	竹信 敦充	串原 義啓	竹信 敦充
	4診			竹信 敦充			てんかん外来(月1回)
	専門外来		東京大学	東京大学		脳健診	頭痛外来(月2回)
外科	1診	花畑 哲郎	浦久保 直澄	花畑 哲郎	浦久保 直澄	花畑 哲郎	花畑 哲郎
	2診	岡山大学	花畑 哲郎	浦久保 直澄	國府島 健	浦久保 直澄	浦久保 直澄
	専門外来				大澤 晋 (心臓血管外科)		
整形外科	1診	小坂 義樹	小坂 義樹	小坂 義樹	岡山大学	小坂 義樹	小坂 周 (第1週) (第2・3・4・5週)
	2診	小坂 義樹	小坂 義樹	小坂 義樹	小坂 義樹	小坂 義樹	
	小児整形			小坂 義樹			
	形成外科			岡山大学			岡山大学 (第2・4週)
泌尿器科	1診	志田原 浩二	志田原 浩二	志田原 浩二	志田原 浩二	志田原 浩二	志田原 浩二

【専門外来】

2016.2.1現在

糖尿病	月(月2回)	午後2:00～4:00(予約制)	もの忘れ	月・火・水・木・土	午前9:00～11:00(予約不要)
血液内科	火(月2回)	午前9:00～12:00(予約制)	早期認知症診断	月・火・水・金	午後2:00～4:00(予約制)
禁煙	火・木	午前9:00～11:30(予約不要)	脳血管障害	火・水	午後2:00～4:00(予約制)
	土	午前9:00～11:00(予約不要)	頭痛	土(月2回)	午前9:00～12:00(予約制)
消化器内科	木	午前11:00～12:00(予約制)	てんかん	土(月1回)	午前9:00～11:00(予約制)
循環器内科	水	午後2:00～4:00(予約制)	心臓血管外科	木	午前9:00～12:00(予約制)
肝臓	金	午前9:00～12:00(予約制)	小児整形外科	水	午後2:00～3:00(予約不要)
パーキンソン病	金(月2回)	午後2:00～4:00(予約制)	形成外科	水・土(月2回)	午前10:00～11:00(予約制)
腎臓	土(月1回)	午前10:00～12:00(予約制)	総合診療科	月・水・木・土	午前9:00～11:00(予約不要)
肝臓	土(月2回)	午前9:00～12:00(予約制)	ストーマ外来	第3木曜日	午後2:00～4:00(予約制)

地域医療連携室

外来・入院紹介 TEL.0847-40-3656
FAX.0847-40-3657
CT・MRI検査予約 TEL.0847-51-8045

本誌について、ご意見ご感想がございましたら、是非お聞かせください。

寺岡記念病院

TEL.0847-52-3140(代) FAX.0847-52-2705
通所リハビリテーション「フォース」
TEL. & FAX.0847-52-7655
ローカルcommons・ウィル
TEL. 0847-54-0620(代)

社会医療法人社団陽正会



発行:

2016.2

vol.47

てらおか
メデイカル・クオーターリー

ed. K. Kashio
photo. A. Takenobu

〒729-3103 広島県福山市新市町新市37番地 TEL.0847-52-3140
E-mail: info@teraoka-hosp.jp http://www.teraoka-hosp.jp/